

国立音楽大学同調会 2022年度 代議員会 会議録

日 時：2022年7月31日（日）午後1時30分より2時40分まで

会 場：国立音楽大学6号館101室（大講義室）

出席者：27名（議決権者の総数：50名、この内表決書による参加15名、委任状提出8名）

配付物：議事次第、出席者名簿、2021年度活動報告、会計報告、監査報告書、2022年度活動計画（案）、予算書（案）、役員等選出のための一覧／参考資料：ホームカミングデイ2022チラシ／大学関係資料：OPEN!2022、秋のオープンキャンパスチラシ、授業公開チラシ／オリジナルエコバッグ

冒頭、司会の杵渕総合企画部部長・代議員より、代議員会の配付資料が確認された。会議資料、大学関係資料のほか、コロナ禍の学生支援の際、支援物資と一緒に配付されたオリジナルエコバッグ（限定1,510個の非売品）、当日の出席者のみの配付となるが、懇親会縮小のため大学からのお土産も併せて配付することが説明された。

次に本日の会が成立要件を満たしていることが伝えられた。その後、議事次第に沿って進行的た。

はじめに、山下洋輔会長の挨拶、続いて山田晴彦理事長・同調会顧問、武田忠善学長・同調会顧問のご挨拶をいただいた。

規約第8条第4項により指名された議長：大友太郎氏（幹事・代議員）、副議長：鈴木恵子氏（幹事・群馬県同調会代議員）による進行のもと、配付資料に沿って以下の内容が審議・報告された。

【審議事項】

1. 2021年度活動報告 <小川哲生 幹事代表>

活動報告の内容は配付資料および以下のとおり。

- ① 会議報告：代議員会、役員会について。代議員会は書面開催、役員会はオンラインと対面の併用にて実施した。
- ② 同調会ニュースの発行：通巻98号を7月に発行した。
- ③ 卒業記念品の製作：2020年度同様の卒業証書入れを製作した。
- ④ 同調会 Web サイトの更新
- ⑤ 賛助金（寄付）の募集：2020年度に続き第5回の募集となった。663,500円（年間目標額500,000円）の寄付をいただいた。
- ⑥ 奨学金の給付：6名の優秀な学生に給付した。
- ⑦ 県人会助成金の給付：1団体に助成した。

- ⑧ 第11回ホームカミングデイの開催：大学の芸術祭はオンラインでの開催だったが、「第4回くにたち賞」の表彰式と、受賞者によるトーク&コンサートは対面にて開催した。2020年度に続き、収録を行い、同調会 Web サイト上で動画配信を行った。「くにたち写真展」も実施した。
- ⑨ 第5回くにたち賞の受賞者選考：無事に実施することができた。
第6回実施に向け、推薦数を増やすために、規程や推薦要領の改訂を行った。同調会 Web サイト上の専用フォームから推薦を可能とした点、候補者に関する参考資料の添付を任意にした点、推薦受付は前倒しして7月20日開始とした旨が説明された。
- ⑩ 各同調会主催演奏会への教員派遣：福岡県同調会の体験レッスンのみ行われた。
- ⑪ コロナ禍に対応する同調会からの学生支援
- ⑫ 同調会オリジナルグッズの製作

2. 2021年度 会計報告 <蓮見浩志 総務・財務部経理課課長・代議員>

前項の議事1の実施等に伴う会計について報告した。会計は配付資料のとおり。

3. 2021年度 監査報告 <神宮寺淑子 会計監査人・山梨同調会代議員>

代議員会に先駆けて、同調会会計監査人の本島阿佐子氏（7月18日実施）と神宮寺淑子氏（7月20日実施）が監査を行った。神宮寺氏より、監査の結果、収支状況が正しいことが報告された。

議事1～3について、以下の意見、質疑応答があった。

【代議員】同調会オリジナルグッズについて：一筆箋製作費は24万2千円となっているが、900（冊）で割ると268.888....円と割り切れない。売価は420円となっているが、実際の単価が違うのか、製作費の金額の細かい額が切り下げられているのか知りたい。

【答弁】この場では正確に把握できていないので、後日、報告とさせていただきます。

【報告】製作費に齟齬はなく、1冊あたりの製作単価は約268.9円であるが、販売を委託している宮地楽器への手数料や、相場等を勘案し、売価を1冊あたり420円と設定した。

【代議員】くにたち賞について：所属の県に受賞者が出た場合、受賞を事前に知らせてもらうことは可能か。受賞者本人へなるべく早くお祝いの言葉を伝えたい。

【答弁】選考委員会後に役員会に報告する必要がある。公表まで情報の行き違いがないよう進めるため、事前にお知らせができないことをご了承いただきたい。

以上、2021年度活動報告及び会計報告、監査報告について拍手で承認された。

4. 2022年度 活動計画案 <藤沢章彦 副会長>

活動計画案の内容は配付資料および以下のとおり。

- ① 会議予定：代議員会と役員会について。今年度の役員会は、評議員選出のために1回多く開催する予定。
- ② 同調会ニュースの発行：通巻99号を発行する。
- ③ 卒業記念品の製作：2021年度同様に製作する。
- ④ 同調会 Web サイトの更新
- ⑤ 賛助金（寄付）の募集：第6回も募集。
- ⑥ 奨学金の給付：第6回も3月頃を予定。
- ⑦ 県人会助成金の給付：第6回も2月頃を予定。
- ⑧ 第12回ホームカミングデイの開催を予定。
- ⑨ 第6回くにたち賞選考の実施：推薦についてぜひ協力をお願いしたい。
- ⑩ 各同調会主催演奏会への教員派遣：全7か所で開催予定。
※資料の訂正（栃木県同調会 開催日）：4日（金）、5日（土）
- ⑪ コロナ禍に対応する同調会からの学生支援：残金があるため2022年度も大学で活用してもらうことが決まっている。
- ⑫ 学校法人国立音楽大学評議員候補者の選挙：4年に1回実施する。代議員には候補者の推薦と投票にご協力をお願いしたい。

以上、2022年度の活動計画案について拍手で承認された。

5. 2022年度 予算書案 <蓮見浩志 総務・財務部経理課課長・代議員>

前項の議事4を受け、2022年度予算書案について説明した。予算案は配付資料のとおり。

議事5について、以下の質疑応答があった。

[代議員] 予算書案のホームカミングデイ、大学支援金について 2022年度予算書では35万円となっており、2021年度決算書では17万9千300円の支出となっている。支出が少ないが、昨年と予算額を同額とすることは役員会等で話し合われたのか。

[答弁] 2021年度のホームカミングデイは縮小開催だったため、支出自体が少なく抑えられた。今年度は通常開催の予定のため、予算は同額とした。

[代議員] これからも新型コロナウイルス拡大の波があるかもしれないが、今後、昨年度のような支援を継続的に行うこともあるか。

[答弁] 今後も状況に応じて検討していく。可能性としてはゼロではない。

以上、2022年度予算書案について拍手で承認された。

6. 役員、会計監査、代議員の改選について <大友太郎 議長>

山下会長の退任の挨拶に続き、後任の会長に推挙された武田忠善氏について紹介した。現在、武田氏は、本学の学長を務めているため、来年3月までの間、会長の職務遂行に支障が生じる場合には副会長が新会長を支えていく旨を説明した。

以上、新会長の就任、会長、副会長の一時的な体制について拍手で承認された。

武田新会長の就任の挨拶に続き、副会長以下、幹事、会計監査、代議員の改選について議長より説明した。改選については、配付資料、および下記のとおり。(敬称略)

- ・副会長：藤沢章彦（継続）

- ・新幹事候補：渋谷淑子、神宮寺淑子、田中裕美子、松尾喜一
- ・幹事Ⅱ期目継続：浅野清、石本陽子、米井里香

- ・新会計監査候補：堀江志磨、小川哲生

- ・新代議員候補：渋谷淑子、本島阿佐子
- ・代議員Ⅱ期目継続：足本憲治

質問、意見等はなく、副会長以下の幹事、会計監査、代議員の改選について拍手で承認された。

7. 山下前会長の顧問就任について

武田新会長が演奏会出演のため時間に都合により退席したため、代わりに藤沢副会長より、同調会規約の第9条に基づき、山下前会長に顧問に就任していただき、今後も引き続き指導を賜りたい旨、提案された。

質問、意見等はなく、山下前会長の顧問就任について拍手で承認された。

全ての議事が滞りなく終了し、事務局より「2023年度教員派遣によるコンサート、体験レッスン」の開催申込みについて案内した後、閉会となった。

以上